

300人の未知なる挑戦の舞台裏。

【vol.10】新生活、新年度、新しいってなんかワクワク♡

2026
SPRING
Produce by KAZUMA

Kazuma Co., Ltd.
105 Yaemaki-cho, Fukui-City, Fukui, 910-0123, JAPAN
TEL/FAX: (0776) 56-4006 / (0776) 56-4007

Spring is Coming

この春おすすめのアイテムをご紹介します

- Mood Rug
- Tote Bag
- Woolen Kazuma Mat
- Wrapping Cloth
- Stationery
- Brooch
- Curtain
- Pierce

定価も安くありませんか?

花見の季節ですね!

「ソーシャルプロダクツ・アワード2026」受賞

廃棄生地から生まれる新しい価値。未来につながるものづくりが、社会から評価されました。

カーテンの廃棄生地を限りなくゼロにしたい——そんな想いから生まれた「私たちの未来プロジェクト」。よりよい答えを探し続ける中で誕生したブランド「matec」の取り組みが、このたび社会性と商品性の両面から高く評価され、「ソーシャルプロダクツ・アワード2026」を受賞しました。日々の暮らしの中で「matec」を選んでいただくことが、環境や人にやさしい循環につながっている。その確かな手応えを、皆さまと分かち合えたら嬉しいです。



「matec」は、年間約140トンにのぼるカーテンの端材を「捨てるもの」ではなく「使い続けられる資源」として活かすことから生まれたブランドです。「廃棄物の削減（環境）」と「デザイン（感性）」、そして「福祉（人）」という3つの取り組みの柱をもち、地元の就労支援施設の皆さんと一緒にプロダクトを製作。デザインに決まりはなく、すべて作り手の感性次第。その自由な発想から生まれる生地は、どれも世界にひとつだけの表情を持っています。この仕事が、作り手にとってのやりがいや自信につながることも、私たちが大切にしている価値のひとつです。

コーポレートサイトを一新!

カズマの新コーポレートサイトが公開。スローガンは「セイは未来を知っている」。



「テキスタイルの可能性を広げる」「カーテンの新しい役割を追求する」というスローガンを軸に、カズマのHPをリニューアル。創業から受け継がれてきたDNA、そしてカズマが誇る編織・刺繍・縫製の独自技術を深く紹介。さらに持続可能な社会に向けた取り組みなどもたくさん紹介しています。カズマ風、ぜひご体感ください。

数馬社長がテレビで無双

社長が通販キャスターに!? 通販番組出演で今回も完売達成。



蕎麦×藍カーテンが完成

捨てるはずの蕎麦殻と種まきから自社畑で育てた泥藍の美しさをお届け。



天然染めに取り組み「あたたかプロジェクト」が挑戦したのは、蕎麦×藍染。自社畑で育てた藍と、地元蕎麦店「好太郎」さんのそば殻を煮出し、唯一無二のカーテンと間仕切りを作りました。石川雅夫先生の監修のもと生まれたのは、凛としたながらも温もりのある「蕎麦グレー」と、深く鮮やかな「福井ブルー」。福井の自然と手仕事息づく一枚です。

EVENT

第14回越前陶芸村しだれ桜まつり

毎年出店しているこちらに今年は3つのブランドが参加予定。ここでしか手に入らない限定アイテムやアウトレイト品をご用意しています。

【日時】4/11(土)9:00-17:00, 12(日)9:00-16:00
【場所】越前陶芸村(福井県丹生郡越前町小野原)

『filament』POPUP in兵庫

店主さんのこだわりが詰まったセレクトショップ「Barnshelf」にお邪魔します。定番アイテムのほか新たなプロダクトもお披露目予定です。

【日時】3/14(土)~3/22(日)
【場所】Barnshelf(兵庫県三田市大原1587-9)

MOVE

華麗なる刺繍の世界へようこそ。糸が描く、誇れる技術と表現の未来。

皆さんは刺繍というどんなイメージをもちますか？
洋服や布雑貨のワンポイント、あるいは趣味としての手刺繍でしょうか？
刺繍は布に命を吹き込む歴史ある表現技術です。
糸が重なり合うことで生地には立体と陰影が生まれ、光によって表情を変えていきます。
そんな素晴らしい技術に魅せられ長い月日をかけて深化させてきた
私たちの挑戦と刺繍ブランドをご紹介します。

刺繍は富や権力を象徴する存在から、信仰や文化を映し出す表現として発展。

古代エジプトでは刺繍は王族や貴族の衣装に施され、富や権力を示す象徴でした。また中国やインドではさらに信仰や文化を映し出す装飾として発展してきました。一方で日本にもインドから伝わり、奈良時代には官位を示す印として官服に刺繍が用いられていたといわれています。

各地域で民族性を反映した流派が存在。色鮮やかで精密なアート。

教会の祭服や聖書の表紙などに施された精巧で芸術的な刺繍。

中国

ヨーロッパ

素材感まで描き出し空間に物語を刺繍する『FUJU』

手刺繍×機械刺繍

手の温度と機械の精度が出会う『filament』の刺繍。

手刺繍と機械刺繍を掛け合わせることで、新しい刺繍表現に挑戦したブランド『filament』。刺繍作家・高知さんの手仕事による揺らぎや温かみのある線に、カズマの機械刺繍がもつ正確さと再現性を重ねることで、感性と技術が美しく共存します。形の捉え方や視線の違いから生まれるデザインは同じモチーフでも多彩な表情に。

『FUJU』は中国を拠点に、刺繍表現の可能性を大きく広げている自社ブランドです。竹すだれのざくざくとした風合い、石のざらざらとした手触りまでも刺繍で描き出し、糸だけで質感そのものを感じさせます。太細の糸使いと先染め生地の風合いが重なり、軽やかさと高級感を両立した仕上がり、刺繍が空間に物語と温もりを添えます。

9色糸×刺繍

9色糸で窓辺を華やかに。『La mieu』刺繍シリーズ。

自社ブランド『La mieu』では国内では珍しい9色刺繍の技術が盛り込まれ、グラデーションや繊細なニュアンスも中国の富陽工場ですピーディに生産しています。糸の張りや密度、仕上がりを見極めるのは、長年現場に立つ職人の感性。機械の正確さと、人の目と手の感性が合わさって、奥行きのある刺繍が生まれます。

海外では文化として定着している刺繍ですが、今の日本では「安価」「趣味のもの」というイメージが先行しがちです。私たちは、刺繍が本来もつ表現の面白さと価値を、もう一度暮らしの中で輝かせたいと考えています。糸が重なって生まれる立体感や陰影、布に表情と奥行きを与える刺繍は、単なる装飾ではなく、まるで布に命を吹き込むような文化を紡ぐ技術です。私たちはこれからも糸で美しさを描き続けます。

立体的な陰影、布に表情と奥行きを与える刺繍は、単なる装飾ではなく、まるで布に命を吹き込むような文化を紡ぐ技術です。私たちはこれからも糸で美しさを描き続けます。

LIVE

2026年のはじまりを 多国籍な新年料理でおもてなし。 大人気「カズマ食堂」を盛大に開催!

正月明けに「カズマ食堂」第3弾を開催。テーマは「新年料理を召し上げ!」。多様な働きやすい環境づくりを目指す「福井を元気にしたいプロジェクト」メンバーを中心に企画され、世代間交流や海外出身メンバーとの食文化交流を目的としています。会場には、日本のお正月料理に加え、多国籍メンバーの故郷の味がズラリ。準備は朝9時からスタートです!もち米を蒸すところから始まり、湯気が立ち上る中、力を合わせて餅つきに挑戦。「よいよい!」の掛け声とともに笑顔と会話が広がります。役割分担しながら食卓を囲むことで、部署や国籍を超えたつながりが生まれ、心も腹も満たされる新年のひとつときとなりました。

ミャンマー・中国・日本。

時期も習わしも異なる3つの国の新年の過ごし方と食を学ぶ。

スタッフ手作りのメニューボード。毎回プロジェクトメンバーが企画しています。

お雑煮 野菜をふんだんに入れ醤油と味噌味の2つを用意

モンチャシー 緑色のタピオカが入った甘い香りの伝統デザート

水餃子 木の葉包みという柳の葉のように包んだ餃子がきれい!

ミャンマー

ティンジャンの踊りも披露!

4月17日の旧正月にはティンジャンというお祭りが行われ、人々が水掛け合ってお祝い。またバゴダ(仏塔)参拝、両親への感謝、新しい服を着るなどの習慣もあるそう。

中華人民共和国

2026年の春節は2月17日

帰省後は年夜飯とよばれる大晦日の特別な食事を家族で囲み、魚や餃子などを食べる。年明けの期間には爆竹や花火を鳴らして邪気を払う。龍の舞や獅子舞を行うところも。

アルミと糸のハイブリッドカーテン「eco-fine®」のプロダクトシリーズが累計約1億万円を達成!

53,866,296円達成 / 8,396,880円達成 / 29,182,057円達成 / 1,211,116円達成

【eco-fine®の特性】

- 内からは透けて見えるのに外からは見えない
- 光を通し暗くならないのに熱(赤外線)や紫外線は通さない
- 風は通すのに熱(赤外線)や冷気は通さない

【eco-fine®のメリット】

- 1分で+5℃以上暖かい
- 暖房に頼らない冬を室内に入れる。わずか1cm、独自のWヒート構造の超軽暖房カーテン
- 車検後には、1枚5機能! 暑さ対策カーテンカーン車の専用ハイブリッドカーテン
- 子供アタマに子供不要の暑さ対策
- 1分で+5℃1cmの薄さで軽く暖かい。暖かい。わずか800gのスマート暖房